

いのちの言の葉2013

富山県教育委員会平成25年度いのちの教育総合支援事業

『東京大空襲』を経験して」

高岡市立戸出西部小学校

平成25年11月22日実施

【授業の概要】

東京大空襲を受けた経験から自分のいのちを大切にどう生きていくか、人の役に立つことができるかをみつけて生きてきた先生のお話を聞き、これからの自分の生き方を考える。

【いのちの先生】

白方 美智子先生

・社会福祉協議会役員

(児童の感想)

今日の授業で学んだことはたくさんありました。「戦争のこと」「命、そして愛のこと」。白方先生から聞いた話は、今では想像できないくらい、ひどくて苦しくて悲しかったと思います。何でもすぐにあきらめたり、ばかにしたり、ぜいたくを言ったり、こういうことはもう絶対しません。愛を大切にしていきます。

(児童の感想)

私は、白方先生のお話を聞いて戦争のときにつらい経験をされたけれど、お父さんに助けられて生きていると感謝しておられたように、今の私たちがいるのも、昔からずっと命が続いていて、家族を愛する気持ちがあるからなんだと思いました。だから、つらかったり、苦しいことがあっても、「命の大切さ」を忘れずにこれからがんばっていきたいと思います。



(児童の感想)

私は、白方先生のお話を聞いて、親とはなればなれになり、父が手を差しのべてくれた時の感動や「死にたい」だなんて思っはいけないというあきらめない心を学びました。また、私には弟がいます。今は戦争はないけれど、つらかったり、さびしいときもあるので、弟が苦しんでいる時は、弟を愛ではげましてあげようと思います。愛という大切な存在を気づかせてくださり、ありがとうございます。

(児童の感想)

今日、白方先生の話をお聞かせさせていただいて思ったことは、「命の大切さ」「神さま・仏さまは自分たちにいる物をあたえてくれている」「かんたんに『死にたい』という言葉を出さない」ということです。私は、命は大切ということは分かってはいたけど、そんなに深く考えたことはありませんでした。これからも白方先生の言われたことを考えながら生きようと思いました。